

遠鉄の賃貸リノベ高評価

「リノッタ」加盟1年目

賃貸物件のリノベーション事業に参入した遠州鉄道は、国内最大級のリノベーションブランド「Renotta（リノッタ）」加盟実質1年目の今年、施工件数が97件で、全国の加盟58社中1位となった。このうち、静岡文化芸術大の学生サークルと協働で施工した物件は独創性が評価され、「ベストスタイル賞」に選ばれた。賃貸マンションやアパートのリノベーション事業は、築20年以上を中心とした老朽化物件の付加価値を高め、空室率改善と家賃の値上げ、資産価値の向上につなげるのが狙い。遠鉄は当初、年間60〜70件程度の施工目標を立てていたが、物件

施工件数 58社中1位
学生コラボ物件受賞



ベストスタイル賞を受けた「ハイツ自校駅ビル」の一室
＝浜松市東区（遠州鉄道提供）

オーナーなどのニーズが予想を上回った。家賃についても、大規模改修を施した物件で平均約19%、壁や天井など比較的低コストで簡易な改修物件で同9%の上昇を実現した。

一方、ベストスタイル賞を受けたのは「1K」を「1ルーム」に改修した築28年の「ハイツ自校駅ビル」の一室（29平方メートル、浜松市東区小池町）。絵画好きな学生の発案を生かして黒板を設置するなど「落書きし放題」の空間を作ったという。遠鉄は23日午前10時から、同区天王町のリノベーション物件（築31年）で完成見学会を開く。問い合わせは同社アセットマネジメント課へ電053（454）2244へ。